

平成28年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成28年4月～平成29年3月

1. 学校概要

学校名 豊橋市立前芝小学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 中高一貫教育 高等学校
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()

所在地 〒440-0014
愛知県豊橋市前芝町字西堤 30

E-mail maeshiba-e@toyohashi.ed.jp

Website _____

児童生徒数 男子 113名 女子 107名 合計 220名
 児童・生徒の年齢 7歳～12歳

2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

3. 活動内容

<総合的な学習の時間での取り組み>

1 「前芝生き物たんけん隊」(3年生)

前芝校区は、三河湾に面した自然豊かな土地であり、身近に接する生き物も多い。そこで、「自分たちの身近にはどんな生き物がいるのか」を学校内、校区内と調べていった。

校区の公園や神社では、トンボやチョウ、バッタ、カミキリムシなどを見つけた。船だまりでは、ちょうど水が引いていたこともあり、砂や泥の中にカニやハゼがいることを発見した。このことをきっかけに、水辺の生き物への関心が高まり、9月15日には、アジアの浅瀬と干潟を守る会(代表:山本茂雄さん)とみなと塾(校区の加藤正敏さん主催)の方々とともに、六条潟の生き物調査を行った。干潟の砂を掘り起こし、採取した水生生物の名前を地域ボランティアの方に教えてもらいながら、バケツ一杯見つけることができた。



2 「アサリと海苔から見える前芝」 ～海苔と前芝～ (4年生)

3年生とともに参加した六条潟の生き物調査では、30cm平方の木枠内の砂を掘り起こし、その中のアサリの個数と重さを調べた。子どもたちは、思った以上にたくさんアサリが生息していることに驚いていた。そして、グループごと、ワークシートに結果をまとめ、全体の集計を出していった。



この活動をきっかけに課題を見つけた4年生は、アサリ漁や海苔づくり、白魚漁などについて地域の方をゲストティーチャーに招き、学びを深めた。1月18日には、地域の方3名を講師に迎え、海苔づくりを体験した。手が凍えるような寒さの中、昔の海苔づくりがいかに大変だったかを体験を通して学ぶことができた。



後日、できあがった海苔をみんなで食べた。いつもは何気なく食べている海苔も、できあがるまでの苦労を知ったことで、おいしく感じていたようだった。

3 「前芝の田んぼ」(5年生)

5～6月に代掻き、田植えを行った。一株一株手で植えていく作業は、想像以上に大変で驚いたことが感想に書かれていた。

この体験から、「昔の人々が、どのように工夫して代掻きや田植えを行っていたのか」「前芝に田んぼが広がってきたのはいつ頃か」など課題をもち、米を育てながら、調べを進めていった。

11月7日には、地域の講師の方を招き、



「稲刈り」についての学習を行った。その後、鎌で稲を一株ずつ丁寧に刈り取り、それをひもで束ねていく作業を行った。子どもたちは、慣れてくると手際よく刈ることができるようになった。

稲刈り体験を通して、機械のなかった時代の米作りは農民にとってとても大変な作業であったことを実感していた。



4 「歴史を学び、今を考えよう」 ～戦争を通して、今を考えよう～ (6年生)

5月10日に、豊橋公園にある戦争遺構を見学した。豊橋ユネスコ協会の方にそれぞれの遺構について、詳しく説明をしてもらった。子どもたちは、真剣に説明を聞き、メモを取っていた。

この体験活動をきっかけに、一人一人が戦争に関する課題をもち、調べ学習を進めていった。見学した遺構についてさらに詳しく調べたり、戦争に伴う被害や犠牲者のこと、当時の人々のくらしのことを調べたりしていく中で、平和に対する意識が高まっていった。

そして、日本や世界で行われている平和活動への取り組みや平和に対する自分の考えを学習発表会で伝えることができた。



(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）